

一般財団法人伊勢神宮崇敬会
令和3年度事業報告
(自令和3年4月1日 至令和4年3月31日)

本年度は、新型コロナウイルスの影響から持ち直しが見られたものの、引き続き事業活動の自粛や縮小を余儀なくされた。

本会においては、社会や経済情勢の変化により、柔軟な対応が求められる中、政府並びに監督官庁、三重県の方針やガイドラインに沿って適切な対策を講じ、諸事業を実施し神宮崇敬の裾野の拡充に努めた。

会員制度においては、令和4年4月から個人会員の名称変更と維持会員個人での取扱いの追加準備を行った。

宿泊及び研修施設の神宮会館では、これまで行ってきた宿泊者への早朝参拝案内サービスが、「伊勢ブランド」に認定された。本会の特色を活かし、伊勢の神宮が持つ悠久の魅力をより多くの方に知っていただき、事業的価値の向上に努めた。

1. 文化及び芸術の振興

① お伊勢さん 125 社まいり

本年度で 21 期目。神宮の全てのお社を年 2 回または年 5 回に分けて巡拝し、神祭りの心を学んだ。

・ 2 回巡拝日程

新緑のお伊勢さん 125 社まいり (5 月 9~11 日) 13 名<2 年度取り止め>

秋風のお伊勢さん 125 社まいり (10 月 17~19 日) 17 名<2 年度 18 名>

非会員は参加不可

・ 5 回巡拝日程

A コース (4 月 21・22 日) 17 名<2 年度取り止め>

B コース (5 月 26・27 日) 16 名<2 年度取り止め>

C コース (6 月 28・29 日) 12 名<2 年度 9 名>

D コース (9 月 2・3 日延期→3 月 2・3 日) 13 名<2 年度 14 名>

E コース (11 月 1・2 日) 17 名<2 年度 30 名>

非会員も参加可

ホームページを活用し、コロナ禍でお伊勢まいりが叶わない会員様に向け 125 社の魅力を伝えるサイト「日本人の心のふるさと～お伊勢さんを歩こう～」を更新発信した。

② 神宮ばら園の運営

昭和 62 年 10 月に開園した神宮ばら園を運営。春と秋に無料開園し、市民を始め伊勢を訪れる方々に安らぎの場所を提供。皇室敬慕の思いを育むため、皇族のお名前を冠したプリンス・ローズの育成を行い公開した。新型コロナウイルスの感染症拡大のため、11 月の「ばら展」は取り止めとした。

また、開園期間外にも関心を寄せていただけるよう写真や映像などを配信できるウェブサイト「note」において、開花状況や育成記録等の情報を更新発信した。

③ お神楽奉納と神宮茶室での呈茶

本年度で 18 期目。伝統ある風習を体験し報恩感謝の祈り(神楽・御饌)を個々に捧げるとともに、神宮茶室において茶道により伝えられてきた簡素な美と心に触れることを予定していたが、新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、6 月・9 月・3 月の開催すべて

取り止めとした。(6月・9月・3月 定員各20名 年3回) <2年度取り止め>

④ **神宮祭典の奉拝**

二千年に亘り続けられている祭典を奉拝して崇敬の心を体感し、受け継がれてきた歴史・文化・伝統を学ぶ。六月の月次祭(内宮 6月16日)・十二月の月次祭(内宮 12月16日)と神嘗祭(外宮 10月15日)の神宮三節祭における由貴夕大御饌の儀を始め、平安・豊穰を祈念する恒例祭の奉拝を行う予定をしていたが、昨年同様、新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため取り止めとした。 <2年度取り止め>

⑤ **第44回神恩感謝祭**

会員が伊勢に集い、神宮の広大なるご神恩に感謝の真心を捧げ、会員各位の隆昌を祈念するお神楽を奉納した。本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、月読宮由貴夕大御饌の奉拝を取り止め、夕刻の参拝とした。参加者並びに職員の安全を考慮し、事業規模縮小及び内容変更し開催した。(6月18・19日) 61名 <2年度取り止め>

⑥ **第3回神宮奉納弓道大会**

全国の愛弓家より「一度は、伊勢の神宮弓道場で弓を引いてみたい」という大願に応え、弓道技能の向上と弓友相互の親睦を図り、弓道の発展に寄与することを目的に開催を予定していたが、新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、取り止めとした。

(7月9・10日) <2年度取り止め>

⑦ **神宮奉納文化事業**

日本古来より受け継がれる文化及び芸能・芸術の振興を図り、神宮崇敬の裾野の拡充はもとより心の豊かさの涵養に努めることを目的に開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、取り止めとした。(9月11日、10月上旬)

⑧ **第50回初穂曳への参加**

全国より初穂米を募り、伊勢の伝統文化行事「お木曳」継承のための「初穂曳」の参加と、外宮神嘗祭・由貴夕大御饌の奉拝を予定していたが、昨年同様、新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、奉曳と夜間奉拝の参列者募集は取り止めとした。

なお、全国各地より寄せられた懸税・初穂は、地元関係者の協力のもと奉納を行った。

[神社本庁協力] (10月15日)

⑨ **第67回伊勢神宮新穀感謝祭**

本年も新穀収穫への感謝の奉告祭を執り行った。併せて農林水産業の振興に貢献された功労者を顕彰し、我が国の農事全般の発展を祈念した。昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、特別参拝及び神楽殿の登殿人数を制限した上で、協力関係者の多大なるご理解のもと、代表参列の形式で無事に斎行することができた。

(10月24日～12月13日) 参列者 1,212名・農事関係功労者顕彰 23名

<2年度 参列者 693名・農事関係功労者顕彰 21名>

⑩ **第60回伊勢神宮奉納書道展**

毎日新聞社との共催で全国各地から書作品を公募し、内宮饗膳所に於いて展示し、併せて文部科学大臣賞をはじめ優秀作品の受賞者を招待し表彰した。今回は、第60回を記念して「学生条幅記念大賞」を設け、1,400年以上にわたり育まれてきた書道の伝統文化を振興し、書にみる芸術性を喚起した。(11月27日～12月6日、表彰式 11月27日)

出展 17,956点 展示 580点 <2年度 出展 16,430点 展示 554点>

⑪ **令和3年の御礼まいり(2回)**

一年の締めくくりとして大御神様のご神恩に感謝の真心を捧げ、皇室の弥栄、国家の安泰及び参加者各位の平安・隆昌を祈念するお神楽を奉納した。今回は、新型コロナウイルス

感染症拡大防止のため、別宮月次祭の夜間奉拝を取り止め開催した。

- ・月読宮コース（12月18・19日）38名<2年度22名>
- ・瀧原宮コース（12月22・23日）38名<2年度26名>

2. 児童及び青少年の健全育成

① 第12回伊勢と神宮 伝統文化体験教室

全国の小学生とその保護者を対象に、伊勢を中心に育まれてきた精神文化を体験学習し、健全な心の育成を目的に開催。せんぐう館観覧・お木曳車作り・火起こしなどの体験型教室を行った。（8月3・4日）18名<2年度取り止め>

② 第59回伊勢神宮奉納全日本学生弓道大会

全日本学生弓道連盟・神宮司庁・三重県弓道連盟との共催のもと、第69回全日本学生弓道王座決定戦・第67回東西学生弓道選抜対抗試合・第45回全日本学生弓道女子王座決定戦・第45回女子東西学生弓道選抜対抗試合を開催した。（11月20～23日）

③ 第18回神宮奉納お伊勢まいり作文コンクール

小学生を対象に全国より伊勢の文化に触れる作文を募集し、表現力を含め優秀な作品を選定し表彰式を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の社会情勢の観点から、募集・表彰式ともに取り止めとした。（表彰式3月12日）<2年度取り止め>

3. 会員組織の拡充と展開

崇敬会会員の現状

年度	正会員	会員	準会員	合計	維持会員
3年度	6,610名	7,708名	4,092名	18,410名	310件
2年度	6,545名	7,559名	4,039名	18,143名	290件

① 入会促進

日本人の大きな精神的支柱である伊勢の神宮を多方面から紹介し、受け継がれてきた神を敬い日本を愛する心の涵養に努めた。

遷宮を次世代へつなぐ「懸け橋」として、祭典案内等の施策を講じ会員の拡充を図った。

今期目標 個人会員 20,000名（正会員 7,000名 会員 8,000名 準会員 5,000名）

維持会員 300件

都道府県	正会員	会員	準会員	合計
東京都	901	1,642	788	3,331
神奈川県	424	359	185	968
埼玉県	254	259	93	606
群馬県	77	72	43	192
千葉県	318	202	74	594
茨城県	76	54	23	153
栃木県	73	44	49	166
山梨県	52	111	53	216
北海道	247	214	179	640
宮城県	58	63	26	147
福島県	74	139	60	273
岩手県	18	36	54	108
青森県	71	25	15	111
山形県	40	33	5	78
秋田県	23	37	10	70
三重県	336	328	67	731
愛知県	539	509	324	1,372
静岡県	264	209	615	1,088
岐阜県	142	161	46	349
長野県	125	406	68	599
新潟県	77	78	95	250
福井県	38	45	9	92
石川県	87	57	21	165
富山県	118	129	30	277

都道府県	正会員	会員	準会員	合計
京都府	173	150	42	365
大阪府	480	489	136	1,105
兵庫県	220	264	100	584
奈良県	62	78	22	162
滋賀県	80	66	15	161
和歌山県	40	52	14	106
鳥取県	25	37	17	79
島根県	45	38	43	126
岡山県	93	117	72	282
広島県	85	73	24	182
山口県	73	57	18	148
徳島県	46	71	4	121
香川県	68	45	10	123
愛媛県	40	30	28	98
高知県	99	67	8	174
長崎県	26	288	4	318
福岡県	292	289	251	832
大分県	47	58	15	120
佐賀県	56	66	276	398
熊本県	55	86	18	159
宮崎県	13	11	6	30
鹿児島県	38	35	11	84
沖縄県	20	27	25	72
海外	2	2	1	5
合計	6,610	7,708	4,092	18,410

② 第26回会員研修会

「御大礼」の講話、神社祭式の解説と実技、衣文の解説と実演を行い神宮への理解を深め内宮特別参拝・御神楽奉納、古殿地拝観及び夜間参拝（遙拝）を行い、神宮崇敬心の涵養に努めた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初の計画を変更し開催した。

（5月19・20日）27名<2年度30名>

③ 会員研修会(特別編)

神道の知識を深め神宮への崇敬心を涵養する会員研修会の特別編開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、取り止めとした。

（9月14・15日）<2年度取り止め>

4. 宿泊、研修施設等の運営

① 神宮会館の運営

お伊勢まいるの宿として細やかに応接し、早朝参拝案内（伊勢ブランド認定）をはじめ、参宮促進と御神徳宣揚に努めた。新しい生活様式の中で、安全に安心して大切なひとときをお過ごしいただけるよう、諸対策を徹底し温もりあるおもてなしに努めた。

なお、感染症対策として政府並びに監督官庁、三重県の方針及び、「宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン」（日本旅館協会）に準じて運営を行った。

宿泊利用者 17,487 名（1 日平均 47.9 名・部屋稼働率 37.97%）

※令和 2 年度 14,168 名（1 日平均 38.8 名・部屋稼働率 30.52%）

月度	大人	学生小人	宿泊合計	月度	大人	学生小人	宿泊合計
4	1,529	60	1,589	10	1,642	98	1,740
5	929	130	1,059	11	1,509	570	2,079
6	1,039	31	1,070	12	1,985	225	2,210
7	1,025	141	1,166	1	1,635	60	1,695
8	1,106	253	1,359	2	992	38	1,030
9	643	47	690	3	1,716	84	1,800
				合計	15,750	1,737	17,487

② 宿泊企画の実施

(ア) 第 21 回八朔まいりとお水汲み

八朔の日（8 月 1 日）に、五十鈴川の水を汲み、これを家の神棚に供え、一年の家内安全・無病息災を祈願する風習を体験した。今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、夜間参拝を取り止めて講話を行うなど、内容を一部変更し開催した。

（7 月 31 日・8 月 1 日）38 名<2 年度 30 名>

(イ) 第 22 回冬至まいりと注連縄作り体験

冬至の早朝、宇治橋鳥居の正面に昇る朝日を拝み、その年の平穏無事に感謝する風習を体験し、自然への畏敬の念を喚起した。また、伊勢では年中玄関に注連縄を飾り無病息災を願う風習にならない伊勢特有の注連縄作りを体験し、新年にむけて家内平安への思いを込めた。昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当初の計画を縮小開催した。

（12 月 21・22 日）39 名<2 年度 35 名>

(ウ) 厄年まいり

人生の中で災いが降りかかりやすい年齢ともいわれる厄年に神宮で厄祓いし、今後の健康と一層の発展を祈願した。（2 月 8・9 日）7 名<2 年度取り止め>

(エ) 第 31 回お伊勢さん正宮・別宮まいり

神宮の祈年祭にあわせ内宮・外宮をはじめ十四別宮を参拝し、ご朱印を集印。途中神宮の文化施設も訪ねた。（2 月 17・18 日）17 名<2 年度取り止め>

(オ) 還暦まいり

人生の節目となる還暦を無事に迎えられたことに感謝し、特別参拝と神恩感謝のお神楽を奉納した。（3 月 8・9 日）19 名<2 年度取り止め>

5. 会報、図書その他印刷物の編纂と刊行

① 会報誌「みもすそ」

皇室・神宮に関する記事、伊勢志摩の歴史・文芸・習俗の話題、本会行事などの情報発信源の主力媒体として編集し、各会員に配布。創刊から 1 月で 101 号発行となった。

4 月（98 号）は「参宮街道の町並み」、7 月（99 号）は「清めの五十鈴川」、10 月（100 号）は「御師の継承」、1 月（101 号）は「神宮大麻全国頒布 150 周年」を特集した。（年 4 回発行）

② 叢書

御神徳の宣揚、神社神道の昂揚を図るため、神道有識者に依頼し刊行した。
叢書 25『皇室の祈り』 扶桑社『皇室』編集長 伊豆野 誠氏

6. その他この法人の目的を達成するために必要な事業

① 昼食の利用促進

神社関係者を中心に働きかけ、直会昼食の利用向上を図ったが、本年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け利用減少となった。

利用者 9,567名（平均 26.2名／日）、令和2年度 6,238名（平均 17.1名／日）

② 物品、記念品の販売

会館利用者及び崇敬会会員へ記念品や特産品の販売、木製品等の謹製・頒布を行った。
通信販売においては、コロナ禍で自粛が求められ、お伊勢まいりが叶わない方が多いため、ホームページ上から購入決済が出来るネットショップの充実はもとより、ツイッターやインスタグラム等のSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を積極的に活用することで発信力を強化し、頒布の増進に努めた。

③ 研修施設及び神宮相撲場の利用促進

講堂（大ホール・会議室）及び神宮相撲場の利用促進を図った。

④ 神宮参拝者駐車場の運営

内宮前の渋滞緩和の一助として、神宮会館横に隣接する立体駐車場を運営した。

年度	乗用車	バス	合計	有料乗用車	有料バス	有料合計
3年度	147,952台	240台	148,192台	132,173台	2台	132,175台
2年度	127,355台	199台	127,554台	115,825台	5台	115,830台

⑤ コインロッカーの運営

宇治橋前にコインロッカーを設置し、内宮参拝者の便宜を図った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、8月27日から9月30日まで閉鎖とした。

⑥ 太陽光発電事業の運営

我が国のエネルギー政策であるCO2排出削減や再生可能エネルギー導入拡大への協力を行い地球環境保護に貢献するとともに、神宮会館経営の一助とした。

⑦ 神社関係者大会等に出向

各地で開催される神社関係者大会等に出向き、本会の広報を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、取り止めとした。

⑧ スポーツ及び文化活動への助成

行政を含めた協賛・後援依頼団体の行事及び事業の助成をした。

⑨ 参宮案内所における案内

神宮の参宮案内所(宇治橋前)に職員を派遣し、神宮に関する案内を行った。

※神宮御当局の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、8月27日から9月30日まで案内所業務が停止された。

役職員数

理事 14名、監事 2名、評議員 15名、職員 渡邊事務局長 外46名

会議

- | | |
|--------------|---|
| 1. 運営委員会 | 5月15日（神宮司庁会議室）令和2年度事業報告・決算 他 |
| 2. 監事会 | 5月20日（神宮会館会議室）令和2年度業務及び会計監査 |
| 3. 第19回理事会 | 5月27日（可決日）令和2年度事業報告・決算 他
※新型コロナウイルス感染症拡大防止に考慮し書面決議とした。 |
| 4. 第9回定時評議員会 | 5月28日（可決日）任期満了に伴う評議員・理事・監事の選任・令和2年度事業報告・決算 他
※新型コロナウイルス感染症拡大防止に考慮し書面決議とした。 |
| 5. 代議員会 | 6月9日（取り止め）令和2年度事業報告・決算 他
※新型コロナウイルス感染症拡大防止に考慮し開催を取り止め書面報告とした。 |
| 6. 第20回理事会 | 6月10日（可決日）会長・副会長・理事長の選定
※新型コロナウイルス感染症拡大防止に考慮し書面決議とした。 |
| 7. 運営委員会 | 8月28日（神宮司庁会議室）令和3年度事業報告（中間）他 |
| 8. 事務局長会 | 9月17日（取り止め）令和3年度事業報告（中間）他
※新型コロナウイルスの感染症拡大防止に考慮し開催を取り止め書面報告とした。 |
| 9. 臨時評議員会 | 3月15日（神宮会館会議室）令和4年度事業計画・予算 他 |
| 10. 第21回理事会 | 3月15日（神宮会館会議室）令和4年度事業計画・予算 他 |

施設の改善

- ① 神宮司庁に依頼して施工された施設改修及び修繕
立体駐車場入口道路・相撲場周辺アスファルト道路陥没調査及び補修工事・講堂屋上防水シート補修工事
- ② 本会にて実施した施設改修及び修繕
本館パブリックトイレ内和式トイレを洋式トイレ化工事（県内宿泊事業者感染防止対策等支援補助金対象工事）、本館ロビー室外機修理、西館非常階段照明取付け等

以 上